

紙飛行機通信

香川大学 教職大学院 ニュースレター

5



平成29年度 教職大学院 教職実践研究フォーラムを開催

平成30年3月4日に、香川大学教職大学院の平成29年度教職実践研究フォーラムが開催されました。当日は、愛媛、高知、徳島、岡山、大阪等、県外からの参加者も多く、合計123名が集い、盛会に行われました。

全体会では、有馬道久専攻長の挨拶に続き、香川県教育委員会事務局義務教育課課長の久保博紀様よりご挨拶をいただきました。

その後、3つの部会に分かれて、実践研究に取り組んできました14名の院生が発表を行い、活発な質疑応答がなされました。参会者からは、「一年間で取り組んだことをフォローアップ・プログラムでの実践で是非生かしてほしい。」「学校で生かされる具体的なヒントを得ることができた・・・。」等の声も寄せられました。

開設2年目としての取組で十分ではないかもしれませんが、今後も一歩ずつ前に向かって進んでいきたいと思えます。



From finished graduate students

修了生の声

平成28年度修了の第一期生！フォローアップ・プログラムに取り組む

昨年度末に修了した12名の短期履修学生制度を活用した修了生が、今年度はフォローアップ・プログラムに取り組みました。3月中に学修の記録が提出されて、認定証が一人一人に渡されます。今後も学び続ける教員として、実践研究に励みましょう。

チームとして、今、自分に
何ができるのか・・・

高松市立仏生山小学校教諭

阿見 陽子

教職大学院を修了してから早1年。置籍校に戻り、「チーム」を意識しながら、忙しい中にも笑いのある毎日を過ごしています。大学院では、学ぶべきたくさんの方の視点をいただきました。「チーム」もその一つです。ですから、置籍校に戻り、自分には何ができるのか、ということ以前よりも考えるようになりました。そして、そんな私の支えとなったのは、先生方のフォローアップ体制です。「帰る場所ができた。」という大きな安心感。本当に感謝しています。これからも、先生方に御指導いただきながら、学び続ける教員でありたいと思っています。

光陰矢の如し

高松市立栗林小学校教諭

村上 央枝

「なんてかわいいんだろう。」1年ぶりに学級担任として出会った子どもたちと接して感じたことです。昨年度は、学校力・授業力・特別支援教育など様々な視点から多くのことを学ぶことができました。また自分自身を振り返るよい機会にもなり、今までとは違った視点をもつことができました。今年度はフォローアップがあり、大学の先生方と相談しながら、「頼れる」という安心感のもと実践することができました。修了後、あつという間の1年でしたが、先生方や同期の友との「つながり」という大きな宝物を得ることができたと思っています。

ミドルリーダーとは

綾川町立滝宮小学校教諭

宮武 克明

大学院では、ミドルリーダーとは何かについて考える時間が多かった。今年度、現場に戻ってもその問いはもち続けている。

今注目しているミドルリーダーがいる。時代劇水戸黄門の「風車の弥七」である。弥七は、光圀の命によって諜報活動や伝令を務めている。つまり、弥七は情報を最大限活用している調整役だと言える。光圀一行に次々と降りかかる事件を解決できるのは、弥七の活躍による所が大きい。

これからも、私のミドルリーダー探しは続きそうである。

退職・転出される先生方から

最後の2年を教職大学院で 勤められて 七條 正典

退職最後の2年間で教職大学院で勤められたことは、私にとって大変意義深いものがありました。研究の場としての大学と実践の場としての学校現場をつなぐ理論と実践の往還を大切にされた教職大学院は、今日求められている実践的指導力を備えた教員の育成を図る研修の場として、重要な役割を果たすことが期待されていると思います。センターに引き続き、現場経験を活かすことのできる場を与えられ、最後の2年間を務めることができ、悔いなく退職を迎えることができます。本当にありがとうございました。



ほぼ3～4名から多くて12名というのが、本年度の私が担当・参加した講義受講人数でした。教職実践研究における学校力開発コースでの協議等も、少人数によるゆったりとした時間と環境の中で重ねることができました。数々の理論や実践研究、そして多くの知見に触れることのできた2年間でした。今後も、教職大学院で学ばれた皆様が、豊かな指導力とより広く深い視野を身に付けられ、確固とした自分なりの教育理念に支えられた、実り多い教員生活を送られることを祈念しております。

「四十而不惑。五十而知天命。
六十而耳順。」の教え
松井 保



教職大学院の思い出

田崎 伸一郎

「学び続ける教員」を志した多くの現職教員の皆さん。そして、向上心旺盛な学部卒学生の皆さんとの出会いと経験その一コマ一コマが大切な思い出です。そんな2年間、私自身が「学び続ける教員」だったように思います。経験年数も違う、校種も違う現職教員、さらに学部卒学生が一つの教室に入り行われる授業。教職大学院の授業づくりって難しいなあ・・・と、いつも悩んでいました。そんな私をいつも支えてくれていたのは、授業後の院生さんからのコメントでした。振り返りカードで、直接の声かけで、そして授業中の笑顔で・・・そのすべてが私の宝物です。貴重な2年間で本当にありがとうございました。

四国の教職大学院 大学院生相互交流会を開催

平成30年3月4日の午後に、香川大学教育学部キャンパスで四国の教職大学院の院生や教員が互いに情報交換をして話し合う交流会が開催されました。

各大学の取組の特色や違いについて、昼食を取りながら和気あいあいと和やかに交流できました。このような交流が、各院生の教育実践に関わる知見を広げ、学びの価値を高めると期待されます。相互の大学院にメリットが見いだせるように、今後も一層の交流を深めていきたいものです。

次年度からは、四国の教職大学院間をつなぐ遠隔授業を活用して、学びの高め合いを実現していきたいと思っております。



道徳ラボ ニュース



今年度の「かがわ道徳ラボ」で実施してきました道徳ラボ公開講座、道徳ラボ研修会は無事終了しました。昨年度に引き続き、多くの皆様にご参加いただき誠に有り難うございました。「道徳ラボQ&A」を現在、印刷中です。3月中には県内の各校に送付予定です。